



学力調査から

校長 前田 倍成

表1 教科別正答率の県平均等との比較

6年生	全国学力・学習状況調査		県基礎学力調査			4年生	県基礎学力調査	
	国語科	算数科	理科	社会科	外国語		国語科	算数科
	県平均との比較						県平均との比較	
	↑ +4P	↑ +5P	↑ +8.6P	→ +0.3P	→ -0.6P		→ +0.5P	→ +0.5P
	↓ 5P以上下回る	↓ 2~5P下回る	→ 県平均と同程度	→ 2~5P上回る	↑ 5P以上上回る			

◇ 学力調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

【全国学力・学習状況調査】

〈6年生 国語科〉

国語科では、県の平均正答率との比較で、+4ポイントという結果でした。

結果分析から、強み・弱みは次の通り。

- 「書くこと」領域が、県比で10P高い
- 根拠や理由を明確にして書くこと
- ▲題意を捉えた上で、適切なものを選択すること
- ▲資料から分かったことをもとに、自分の考えをまとめて書くこと

〈6年生 算数科〉

算数科では、県の平均正答率との比較で、+5ポイントという結果でした。

結果分析から、強み・弱みは次の通り。

- 二次元表で読み取った情報の根拠を示すこと
- 問題文の情報をもとに、事象が成立するかどうかを数理的に判断すること
- ▲三角形の面積の大小比較について、構成要素などの条件に基づいて判断すること
- ▲基準量と比較量から割合を適切に求めること

【県基礎学力調査】

〈6年生 理科〉

理科では、県の平均正答率との比較で、
+ 8. 6ポイントと高い結果でした。

結果分析から、強み・弱みは次の通り。

- エネルギー領域（ゴムの働き、磁石・電磁石など）についての理解が比較的高い
- 磁石の極の性質を適切に説明すること
- ▲設問によっては、問われていることに正対した解答ができていないこと
- ▲雲画像をもとに気象について読み取ること

〈6年生 外国語科〉

外国語では、県の平均正答率との比較で、
- 0. 6ポイントという結果でした。

結果分析から、強み・弱みは次の通り。

- アルファベットの大文字を書くこと
- 簡単な英文を聞き取ること
- ▲大切なキーワードを落とさずに聞き取ること
- ▲アルファベットの小文字を書くこと

【県基礎学力調査】

〈4年生 国語科〉

国語科では、県の平均正答率との比較で、
+ 0. 5ポイントという結果でした。

結果分析から、強み・弱みは次の通り。

- 漢字の書き取りについて理解すること
- 修飾・被修飾の関係について理解すること
- ▲話の構成を条件に応じて組み立てること
- ▲主語と述語の関係を的確に理解すること

〈6年生 社会科〉

社会科では、県の平均正答率との比較で、
+ 0. 3ポイントという結果でした。

結果分析から、強み・弱みは次の通り。

- 2つの資料を関連付けて考えを書くこと
- 世界の主な大陸について理解すること
- ▲日本の位置や国土、石川県の自然について理解すること
- ▲気候による生活の工夫について考察し判断すること

〈質問紙調査より〉

「自己肯定感」に関する項目から

- 自分にはよいところがある
6年生：81. 2% 4年生：83. 3%
- 先生はあなたのよいところを認めてくれる
6年生：87. 7% 4年生：91. 1%
- 将来の夢や目標をもっている
6年生：79. 3% 4年生：90. 0%

〈4年生 算数科〉

算数科では、県の平均正答率との比較で、
+ 0. 5ポイントという結果でした。

結果分析から、強み・弱みは次の通り。

- 重さの単位を、ものによって適切に判断すること
- 絵の情報を読み取り適切に数表に落とすこと
- ▲長方形の定義を理解すること
- ▲正時をまたいだ時間の求め方

毎年実施されている国・県学力調査の結果は、当該学年の学力の現状を示すと同時に、これまで私どもが実践してきた授業改善、学力向上の取組の評価でもあります。

ここ数年は、適切に表現する力の向上を目的に取り組んできていたわけですが、6年生の国語科「書くこと」領域では、県との比較で10P高い結果が得られ、また「根拠を明確にして」説明する力も向上してきていることがわかりました。こうした調査結果は学力の特定の一部や教育活動の一側面を見るに過ぎませんが、こうして子どもたちの伸びを確認できたことは、私ども教員にとってもうれしいことです。

子どもたちが学力や資質能力をよりよく獲得することは、子どもそれぞれが将来の選択肢を広げることに繋がっていきます。この結果を精査し、2学期以降、改めて授業改善、学力向上の取組に努めてまいります。ご家庭でも子どもたちの学びの土台を支えていただけますようお願いをいたします。